



「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」

「一つの言葉で」

作者不詳

- 一つの言葉で喧嘩して
- 一つの言葉で仲直り
- 一つの言葉で頭が下がり
- 一つの言葉で笑い合い
- 一つの言葉で泣かされる
- 一つの言葉はそれぞれに
- 一つの心を持っている
- きれいな言葉はきれいな心
- 優しい言葉は優しい心
- 一つの言葉を大切に
- 一つの言葉を美しく

みなさんは、この詩を知っていますか。

私たちの生活の中には、あらゆる言葉が飛び交っています。

例えば、子ども達がよく見るバラエティー番組の中で、人を誹謗中傷する言葉で笑いを得る場面があります。また、子どもだけでなく、大人も楽しんでいるテレビゲームやスマートフォンゲームには暴力・殺傷行為を表現したのもも多く、それに熱中するあまり「殺してやる」、「死ね」など、耳を疑うような言葉が飛び交う場面を目にすることもありません。



私たちも普段の生活の中で、このような配慮を欠いたり、他者に不快感を与えたりする言葉を聞いたり、使ったりしているかもしれません。

また、何気ない一言が人間関係を悪化させたり、時には言葉の暴力として相手に精神的な苦痛を与えてしまったりすることもありません。

言葉には、そこに意図する思いのあるなしに係らず、相手への伝わり方次第で与える影響は大きく変わってきます。

「ふわふわ言葉」と

「ちくちく言葉」

みなさんは「ふわふわ言葉」、「ちくちく言葉」を聞いたことがありますか。

「ふわふわ言葉」とは、人から言われて元気になったり、嬉しくなったりする言葉のことです。相手の心をポカポカ温めることができます。

一方、「ちくちく言葉」は、人から言われて元気をなくしたり、傷ついたりする言葉で、相手を不愉快な思いにさせてしまいます。

市内の一部の小学校では、「ふわふわ言葉」、「ちくちく言葉」を教室に掲示し、子どもたちが日常的に温かい言葉を意識しながら生活できるよう工夫をしています。

お互いが温かい気持ちに

言葉の使い方は、人をまねること、繰り返しすることによって築かれていきます。

生活の中で、「言葉」は大切なコミュニケーション方法として欠かせないものです。

自分が言われて嬉しくなる言葉「ふわふわ言葉」は、お互いの自己肯定感を高め、思いやりのある温かい人間関係をつくる大切な一歩となるでしょう。

ぜひ、家庭や職場、地域など身近な人から「ふわふわ言葉」を使ってみてはいかがでしょうか。

「ちくちく言葉」

早くして！
何やってんだよ！
こんなことも
できないの！

「ふわふわ言葉」

ありがとう だいじょうぶ
よかったね すごいな
あなたのおかげだよ
それっていいね

「市内小学校学校だより」から